アネックスインフォメーション株式会社

連絡先 0268-37-1500 担当 三井　秀雄

情報システムで、企業・社会を支える。

業務系分野の情報システムを開発していますので、その技術や関連知識が求められます。

そのため、弊社は人材育成には非常に力を入れており、新入社員研修は2ヶ月間行われ充実しており、文系など情報系以外の出身者でも、いち早くレベル向上が図れます。また、次のステップとしては、ITSS基準とした研修や資格取得の研修・支援体制も充実しています。

営業部　公共ソリューション
丸山 優樹

情報フロンティア学部
2011年4月入社

代表取締役社長
若林 邦彦

「権限委譲と自主的運営」「フロンティア精神をもつ前向きな人材に期待」これが、私の基本方針です。常に前向きでスキルアップに励み仕事に挑戦する人には、どんどん権限を与えて、取り組んでもらいます。

社員一人ひとりの能力を尊重して、戦略まで社員に任せているからこそ"やりがい"となり、結果として会社全体が活性化します。失敗も時にはありますが、トライすることに意味があると確信しています。

企業の強み

- システム全体の提案から、ソフトの設計・開発、ハードウエアの取り付けやネットワーク環境の構築なども含めた運用・保守まで、トータルでサポートしていることが1番の強み。得意先は、大手通信系企業もあり、最先端の開発技術力で、厚い信頼を受けている。
- 課題解決からアフターケアまで一貫して任せられる安心感により、顧客の「社内の情報システム部門」的な位置づけで、信頼関係の醸成につながっている。また、そのための土台を構築するのは、社員そのものであるという経営方針のもと、人材育成の機会は、徹底してサポートしている。

目指す企業の姿

▶経営理念
- 未知の世界はおもしろい
- 権限の委譲による社員参加の経営
- 企業・地域を情報システムで支える
- 人そのものが財産（会社の土台を構築するものは"人"そのもの）

▶経営戦略
- システム開発業務が、売り上げの7割。インフラなどの基盤構築が3割で、今後は、ネットサービスのシステム開発やメディア関連分野の融合などを進める。
- 社員と社員より登用された取締役による経営・管理を行い、社員一人ひとりのモチベーションを高め、社内の意思決定をスピーディに行う体制を実現している。
- ITSSをベースにした計画・体系的な教育とOJTの両方を充実させることで、広い視野を持った魅力的な人材の育成に努める。

▶将来ビジョン
- マネジメントできる企業規模で業務の領域を専門特化し、その道のスペシャリストとして顧客の要求に"高品質な情報システム"でしっかりと応えていく。
- 図書館システムに次ぐヒット企画を生み出すために、新しい分野に強みを持つ人材を、別会社化や子会社化も視野に入れて積極的に育成していく。

基礎情報

事業内容	情報システムの設計・開発、情報機器の販売
所在地	上田市リサーチパーク813-11
資本金	8,800万円
従業員数	115名
設立	1973年
売上高	17億7,100万円
初任給	院卒▶231,000円　大卒▶225,000円 専門▶217,000円　短大▶217,000円 高専▶217,000円
福利厚生	退職金制度、育児・休業制度、時短制度　など
休日・休暇	週休2日制、年次有給休暇、特別休暇、年末年始休暇

最近の雇用状況

	22年度	23年度	24年度
採用人数	14	8	7

取材風景

東京センターシステム部

学生から見た魅力

働きがい
- ★ 若手の社員でも、大きな仕事やコアな仕事を任せてもらえる機会が多いため、積極的にチャレンジできる環境があると感じた。
- ★ 顧客の課題に合わせ、ソフトウェアの構築だけではない情報機器やネットワークまで含めたトータルサポートまでできる体制は、高い顧客満足度を生むと感じた

職場の雰囲気
- ★ 文系・理系関係なく、技術社としての育成と成長のための研修やキャリアに応じたスキルアップが体系的に整えられている企業だと思う。又、技術の研鑽だけではなく、社内外のコミュニケーションを大変重要視している点と、それに対するフォローアップも素晴らしい。

将来性
- ★ 総合情報産業として、システムの設計・開発から周辺機器のサポートまで顧客の課題に応じて幅広く対応できるので、信頼度や満足度は非常に高いのではないかと感じた。
- ★ 技術力とヒューマンスキルの向上に力を入れ、技術力とマネジメント力で顧客と向き合う姿に、企業としての強みと魅力を感じた。